

教職員研究チーム活動状況報告書

代表者の所 属・職・氏名	川西市立 けやき坂小学校 職・氏名 主幹教諭 光岡 眞弓	研究チーム名 (学校カウンセリング研究会)
-----------------	---------------------------------	----------------------------

研究テーマ分類番号 (15)

(1)研究テーマ

- ・児童生徒理解や教育実践に生かすことのできるカウンセリングの知見や技法を模索し、教師としての実践力を高める。
- ・事例検討会を通して、教師同士互いに支援し合う場（教師ピアサポートグループ）を開発する。

(2)研究経過及び具体的な取組

平成22年6月22日（火）

自己紹介、年間計画確認のあと、本年度テキスト「明治図書『子どもたちの感情を育てる教師のかかわり』大河原美以」を紹介した。リラクゼーションとして「10秒呼吸法」をおこなった。

平成22年7月5日（月）

テキスト第1章の読み合わせを行った。本年度第1回目の教師ピアサポートグループ（事例検討会）を行った。事例提供者は学級で気になる児童について話し、他のメンバーがリソースを探していった。そのリソースを模造紙に分類し、提供者の取組を整理した。提供者は自分の問題に仲間が向き合う貴重な時間を体験し、エンパワーメントされ笑顔になった。

平成22年8月2日（月）

川西市教育情報センターとの共催で「『からだ』からの信号を聴いてみませんか・・・？～フォーカシングの体験を通して～」をテーマに研究会を開催した。講師はハートフルコミュニケーション「寸松庵」主宰者である。日常、頭で考え行動していることが多いが、体の感じを大切にしながら生活し、児童生徒と接することの豊かさに気付かされた。

平成22年10月1日（金）

教師ピアサポートグループ（事例検討会）第2回目を行った。分類をしながら、次への取組のヒントも明らかになった。研究会としてこの方法を何度も行い体験を積んだ成果と感じた。リラクゼーションとして「心の整理」を行った。自分の気がかりを画用紙に配置するだけで、ずいぶん気持ちがすっきりする体験だった。

平成22年11月18日（木）

次のテキスト「図書文化『実践！ソーシャルスキル教育小学校』佐藤正二・相川充」購入について検討を行った。関連のあることなので、特別支援教育について話が及んだ。